

## 第 3 回 意見照会まとめ結果

## 1 確認をお願いしたい項目

## (1) D委員「学習者像①、学習者像②…という表記は誤解を生むのでは」という御意見について

趣旨：学習者①、学習者②…という記載の仕方は、学習者のタイプが 5 パターンあり、それぞれ別の 5 人の学習者に見えないか。一人の学習者に①～⑤までを包含してほしいのであれば、『次のような素養を持った学習者になってほしい①……、②……』でいかがか。

[事務局案] ※資料 2 のスライドに反映済み

学習者像、視点、政策もすべて見出しなしの「①、②、③…」とする。

## (2) A委員「学習者像②「社会課題を…」の「社会課題」はやや唐突では」という御指摘について

趣旨：学習者像②「社会課題を自分事化して 行動に移す」の「社会課題」は、最上位目標や視点との関係でみると、やや唐突な印象を受ける。必要性等は理解できるが、全体的な記述では、社会課題というより、個人課題が強いように思う。

[事務局案]

原案どおりとしたい。

理由：・「社会課題を自分事化する」ことは、ひとりひとりが社会の形成者としての自覚を持つことであり、今回の計画策定における大きなポイントと考えている。

・県教委として強い思いのある表現であるため、原案のとおりとしたい。

## (3) C委員「重点政策のナンバリング」への御意見について

趣旨：政策のナンバリングが、上 4 つと下 4 つで連番がよいのか。政策 A-①②③④、政策 B-①②③④とかのほうが、理系にはしっくりする。

[事務局案] 資料 2 スライドに反映済み

枠組みごとに「①～④」とする。

## (4) C委員「政策⑥ 説明文の表現を工夫した方がよい」の御意見について

趣旨：・説明文の 1 つ目で、「教育」を学校内だけでとし、3 つ目に「教育を家庭から社会へ」。学校なの？家庭なの？という混乱はありそう。

・「」付きの「教育」と、「」なしの教育のの違いはあるが、一つ目を「学び」にしたり、3 つ目を、「教育を家庭・学校から」として学校を入れたり、何か工夫が必要と思う。

[事務局案]

・「教育」を学校内だけで…」→「学び」を学校内だけで…」へ修正

・「教育を家庭から社会へ…」→「教育を家庭・学校から社会へ…」へ修正

※ この資料スライドに記載している説明は、最終的な本文ではないものの、本文作成時のベースになるものなので、この段階で整えておきたい。

## (5) C委員「政策⑦に「警察」という言葉を出すかどうか」の御意見について

趣旨：具体的に「警察」という用語を出さない方が良いか議論が必要か。また、「行政機関などが」としてあるが、政策⑥には民間が含まれている。政策⑦も民間のニュアンスが入って欲しい。

[事務局案] ※資料 2 スライドに反映済み

・『警察』は見出しから削り、警察の機能等については、説明の本文で触れる。

- (※『警察』と『司法』は別の立場であるので、「警察を司法に含める」扱いとはしない。)
- ・政策⑥、政策⑦（※修正後は基盤となる政策の②と③）の記述をそれぞれ次のように改める。
    - ②「学校」、「地域」、「行政機関」、「民間団体・企業」等が協働した学びの充実
      - ※②には、事務局案として、全体のバランスから「行政機関」という言葉を追加したい。
    - ③「教育」、「福祉」、「保健」、「医療」、「司法」、「地域」、「民間団体・企業」等が連携して、年齢や背景の多様性等に応じた支援の充実

(6) B委員「政策⑦に「保健医療」(または「保健」「医療」)…としてはどうか」の御意見について

趣旨：「様々な困難さを…」で、「メンタルヘルスの諸問題を抱えた子どもも配慮対象に」との意見もでているので、…「福祉」、「保健医療」(または「保健」「医療」)…としてはどうか。または、見出しは「医療」として、「説明」の中で「等」とした部分として、“保健”に触れてはどうか。

[事務局案]

見出しに「保健」を追加したい。

- ③「教育」、「福祉」、「保健」、「医療」、「司法」、「地域」、「民間団体・企業」等が連携して、年齢や背景の多様性等に応じた支援の充実

(7) G委員「政策⑦の本文に『家庭の協力について』を書いては」という御意見について

趣旨：・政策⑦の本文で、困難さを抱える児童生徒を支援するために、「家庭」の連携協力が必要だと強調すると良い。

・貧困やヤングケアラーなどの困難さを抱える家庭に対し、周りが協力連携支援をしようとしても、家庭が「事情を話さない・無視し続ける・支援を受け入れない」ことがあると思う。

・「虐待」については、「家庭」の中の誰かが周りとは協力連携して「虐待」から守ることもあるかと思う。困難さを抱える家庭に対して、支援体制は整っていても、家庭が協力しないように感じる。難しいかもしれないが、「家庭」も児童生徒を支援するために連携協力していただきたい。

[事務局案]

- ・本文に記載する方向で、文案について意見をいただきたい。表現に注意が必要。
- ・「家庭も学校も地域も主体として」関わることに配慮した書き方としたい。

(8) B委員「イメージ図の『小さい○』の要素」への御意見について

趣旨：・今の案は「家族、友人、教師、同僚、趣味の仲間、保護者、地域の人、友人、自治会、職場、ボランティア」だが、小さい○に何をを使うか検討しても良いのでは？

・以前の図は、小さい○に『子ども、家族、友人、友達、後輩、先輩、趣味の仲間、職場の仲間、同僚、職場、部活動、自治会、ボランティア、生徒、クラス、職員室』があった。改めて確認し、このままでも良いと感じた。

[事務局案]

- ・イメージ図の全体的なデザインについては、懇談会としての了解をいただきたい。
- ・具体的な項目や配置は、まずは事務局で検討の上、改めて確認をお願いしたい。
- ・イメージ図の解説で、色の意味（凡例）や、○同士の位置関係や重なり方なども記載する。

(9) F委員「作成いただいたイメージ図の案」について

趣旨：別添イメージ図参照

[事務局案]

- ・全体の概念図は、これまで検討してきた図（資料2のスライド3）としたい。
- ・今後、教育ビジョンについて説明していく中で、使わせていただく場面はあると思われる。

- ・活用させていただきたい。

(10) A委員『**集団と個人のバランス**』の『**集団**』という言葉への御意見について

- 趣旨：・「**集団**」と「**個人**」のバランスについて」という見出しだが、「**集団**」は再検討が必要か。  
 ・上智大の奈須先生は、**集団**とは現代では言わないでしょうと発言されていた。  
 ・調べて見ると、内田先生は「**個人**」「**場**」という風にも書いているようにも見える。

[事務局案]

「**集団**」は、このままにしたい。

[理由]

- ・学校において「**集団活動**」は重要であり、なじみ深い概念。
- ・**集団**エージェンシー collective agency の意義を認めた上で、マイナス面をあわせて整理している。
- ・「**個人**」との対比として、「**組織**」という言葉もあるが、**組織**よりもっとゆるやかなつながり（例：友達グループ、近所の人たち）も含めて考えるために「**集団**」と整理している。
- ・「**場**」は、さらに緩やかなその場限りの人同士の環境なども含む。この図は、「**集団**」と、属する個人との関わり方を整理するもの。「**場**」という言葉で説明することは適当でないと思う。
- ・より良い表現があれば御提案をお願いしたい。

(11) C委員「**説明図②「健康の基盤」の「身体&メンタル」という表現**」への御意見について

- 趣旨：メンタルという言葉を使用するよりも、「心身両面が健康」などの表現が良い。

[事務局案]

「心と身体」としたい。

## 2 検討をお願いしたい項目

(1) A委員「**向上目標的な記述に見えにくい**」という御指摘について

- 趣旨：・ウェルビーイングの定義に「**持続的**」の要素があるが、全体的に「**持続的**」「**継続的**」といった向上目標的な記述に見えにくい。  
 ・例えば、最上位目標であれば、「自ら学びを作り、行動し続ける自律した学習者の育成」などと、行動し続ける、学び続けるといった要素が見えるとよりよいのではないか。  
 ・多くの学校関係者は、目標といえば、到達可能である到達目標的に捉える。しかし、一般に、ひとりひとりを重視したり、高次の目標であれば、到達するというより、過去の自分よりもより良くなるために努力し続ける向上目標的な意味合いになるのではないか。

[事務局案] ※資料2のスライドに反映済み

- ・最上位目標のサブテーマを修正「～自ら学びを作り、行動し続ける～」としたい。
- ・群馬県の教育が目指す学習者像の①を「**自らが主語となる学びを作り、深め続ける**」④を「**対話と交流により、信頼関係を築いていく**」として、「**継続的**」なニュアンスを加えたい。
- ・本文での説明内容に**GRIT**の要素を加えたい。(※新規)
  - ※GRIT (グリット) とは、日本語では「やり抜く力」と定義されている能力です。以下4つの要素から成り立ち、それぞれの頭文字を取って「GRIT」になります。
    - ・Guts (ガッツ) : 困難なことにも立ち向かう度胸
    - ・Resilience (レジリエンス) : 苦境にもめげずに立ち直る復元力
    - ・Initiative (イニシアチブ) : 自ら目標を見つけて取り組む自発性
    - ・Tenacity (テナシティ) : 最後までやり遂げる執念

(2) C委員『**生きるための基盤に困難さを～**』という言葉への御意見について

- 趣旨：・「**生きるための基盤に困難さを抱えている児童生徒**」という言葉も、非常に強い言い方。  
 ・「**基盤の機能欠損**」のニュアンスは、思った以上に当事者は言われたくない言葉。  
 ・自殺するヤングを連想する言葉でもあり、より幅広く存在するメンタルヘルスの諸問題を抱えた子どもも配慮対象と示す言い回しが良い。

- ・支援対象には**親も含めるべき**。
- ・**「本来持つしなやかな力強さ」を発揮し難くなっている児童生徒、家族**などにしたい。

#### [B委員]

- ・貧困、ヤングケアラー、児童虐待といった課題のみを背景要因と捉えると、スタンダードな状態からのマイナス、生きるための基盤の機能欠損というニュアンスにとらえられますが、生きるための基盤は機能的な部分だけでなく、心の状態も生きるための基盤そのものと捉えています。
- ・最上位目標の説明図②にこの項目が掲載されている意味は、「様々な背景要因により、子どもの教育を受ける権利を保障することができなくなる（教育を受けるというスタートラインにも立てない）可能性があるので、十分な配慮が必要である」と伝えるためだと理解しています。

つまり、様々な背景要因により、

- ① 生きるための基盤に困難を抱え（機能欠損の状態である無しに関わらず、子ども自身が困難を感じている状態）
- ② 狭義でのウェルビーイング（（身体的・精神的・社会的に良い状態）の状態でなくなり、
- ③ コンピテンシーとエージェンシーの相互強化ができず、
- ④ 結果、ウェルビーイングの状態になることが困難である。
- ⑤ だから、本人の年齢や状況に応じて十分な配慮が必要。

#### (別案1)

##### **社会生活を円滑に営むうえで困難さを有する子ども（児童生徒）**

(↑は、子ども若者育成支援推進法、群馬県子ども・若者支援協議会設置要綱の文言)



『様々な背景要因により、**メンタルヘルスの諸問題や社会生活を円滑に営むうえで困難さを有する**児童生徒はエージェンシーやウェルビーイングの基盤の部分に困難さを抱えることがあることに留意が必要。』

少し長いですが、こちらの方が共通理解しやすいかとも思いました。

#### [事務局案]

○B委員からいただいた「様々な背景要因により、**メンタルヘルスの諸問題や社会生活を円滑に営むうえで困難さを有する児童生徒はエージェンシーやウェルビーイングの基盤の部分に困難さを抱えることがあることに留意が必要**」をベースに**議論をお願いしたい**。

○「支援対象に親も」という点に関しては、G委員からの御意見（1（7））と趣旨は同じものと考えられるので、次の対応としたい。

- ・本文に記載する方向で、文案について意見をいただきたい。表現に注意が必要。
- ・「家庭も学校も地域も主体として」関わることに配慮した書き方としたい。

#### (3) C委員、B委員「SOSを出しやすくする体制の整備等」という御意見について

趣旨：・教育推進計画に記載すべきか分からないが、「SOSを出しやすくする体制の整備」が重要（C委員）

- ・とても大切なこと。SOSの出し方教育と共に、SOSが出せる場づくりも大切だと日々感じる。
- ・ヤングケアラーや虐待でも、子どもがおかれた状況に対して批判的に介入することで、時に、

「子どもにとっては大切な家族」という部分を否定されて、子ども自身が傷つくことがある。

・今後、「自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い・・・」という社会を目指すために、「基盤の機能欠損」ではなく、「基盤の機能不全」という視点があると良いと感じる。

・みんな一生懸命やっても難しい時には、大人にも助けが必要。

・子どもは子どもらしく生きる権利があり、それは守られて当然なのだ子ども達が理解し、安心して相談できる場があることが大切。

・困難な状況にあるとき、誰一人責められることなく、対話と交流による信頼関係が築かれることで、大人も子どもも苦しいときに SOS を出せるようになっていくと感じる。

[事務局案] ※資料 2 に仮案として記載

・学習者像④の大きな柱として、説明の本文の中で次のようなことを示したい。

・「人の力を借りる力」、「周りをつながる力」、「自らも助けを求められるし、周りを助けることもできる力」、「SOS を発信できること」、「自己を開示できること」

・こうしたことは、他の学習者像にも共通した大事なことであることなど。

⇒C委員、B委員の御意見、事務局案も踏まえて、議論をお願いしたい。